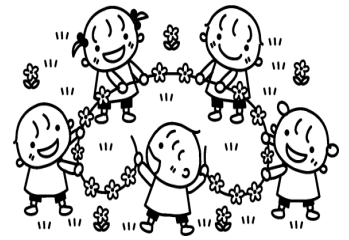




しょき

# ぜんくしろだより



全釧路教職員組合・書記古川和美 2021/7/27 '21年度 NO6

「同僚がパワハラを受けています。たすけて」と組合員からの相談があり、すぐに全釧路として、教育委員会と学校を訪問し、対応しているところです。パワハラを受けています、ってなかなか言えません。ましてパワハラしてますとも言えませんね。周りが気づいて相談してくれた。…どうかこの方が救われますようにお祈りするばかりです。最近読んだ本の中から次のような文章を見つけました。

## 教師から夢と希望と子どもたちの笑顔を奪わないで・・・

\*教師3年目の彼女は校門の前で足が止まり、それ以上一歩もすすめなくなりました。

なんとか校舎に入っても、吐き気をもよおし、何度も戻してしまいました。先日の保護者会でも、保護者の前で何も話せなくなり、体調不良を理由に、保護者の皆さんには帰宅してもらったばかりです。

教室の中を、常に誰かに見張られているような気がして、教室の窓という窓に、中が見えないように、掲示物を張り巡らせました。子どもが管理職に自分の悪いところを告げ口しているような気がして、その子どもに強く当たりました。

何もかもネガティブに考えてしまい、ようやく心療内科で診察を受けたところ、休職を勧められました。1年間休んで現場に復帰しましたが、再び体調を崩しました。結局、教師の仕事はあきらめることにしました。



\*教師として歩み始めた1年目の夏休み、新採研の合宿から戻った2日後、彼は命を落としました。彼が勤務していた学校は、体育の研究では歴史ある学校でした。早朝に子どもが器械体操の練習に来ることもあり、自動的に教師の出勤は6~7時台になります。公開研究会の指導案作成時は、日をまたいでの勤務もありました。そんな中、1年目の教師はどれだけ心身に負荷が与えられ続けたのでしょうか。彼のお葬式に参列した友人から次のような話を聞き、私は涙しました。

「お化粧のせいかもしれませんが、彼の目から赤い涙が流れていました。血の涙のようにみえて・・・悔しかったんだと思います。」



彼らは、教師の仕事に夢を持っていたはずです。

彼らは、子どもの笑顔が見たかっただけなのです。

学校現場は、そんな彼らから、夢と子どもたちの笑顔を奪いました。



「教師と子どものための働き方改革」

塩崎義明著学事出版



## ●ゆきとどいた教育を求める請願書名

「教育予算を増やして」

「小学校～高校まで 35 人以下学級へ」

「障害児学校の過大・過密の解消を！」

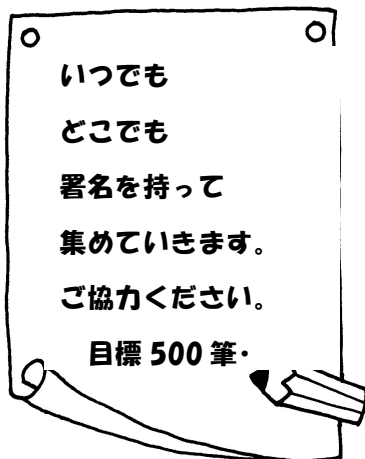
「世界に例のない**所得制限**はやめて**高校無償化復活**を！」

「私立高校も無償に！」

「奨学金は返済不要の**給付制**に」

「やめて！変形労働制」

「せんせいふやして 20 人学級に」



\*一人ひとりのかけがえのない命を生きる子ども達の今の幸せを支え、希望ある未来を創るための大切な署名です。教育者も保護者も日々誇りと喜びをもって子育てをしたいのです。

そのために私たちは、子どものための予算を大幅に増やし、国と自治体の責任で、教育環境の改善、施策を拡充し、誰もが安心できる教育の実現を求め、請願します。

## 矢白別平和盆踊り大会

コロナ禍のため、昨年はオンライン花火大会、(無観客)今年はおオンラインライブ配信とします。ぜひご自宅で鑑賞してください。

8月7日(土) 18時～

## 第18回中央委員会

期日 2021年9月4日(土) 13時半

場所： 星が浦教育会館 会議室

TEL 0154-51-0476

組合の活動を総括し、あたらしい運動方針を確立する大切な大会です。大変お忙しい中だと思っておりますが、たくさんの組合員の皆さんの出席をおねがいたします。